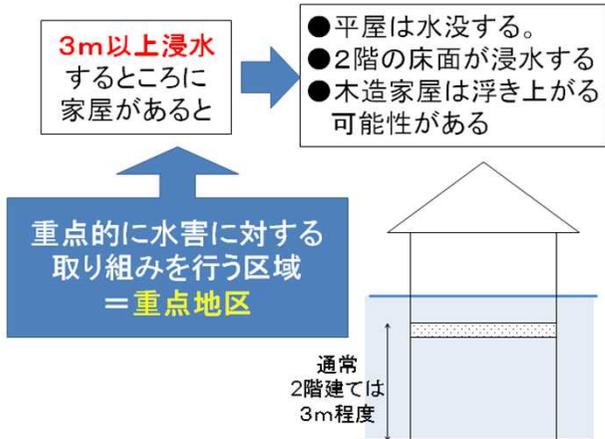
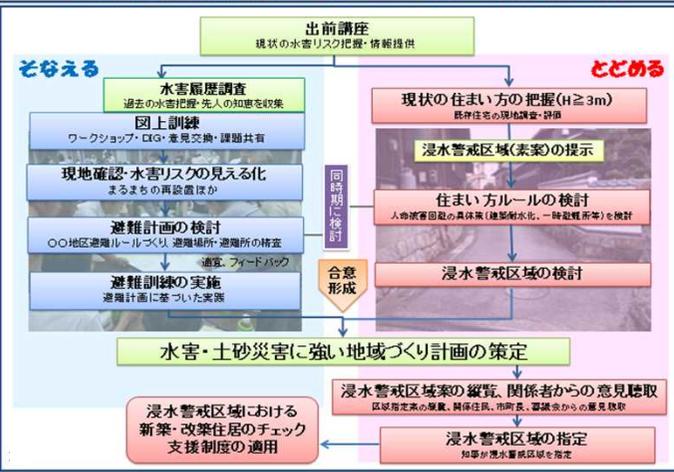


### 重点地区での取り組みについて

- 3m以上浸水するおそれのある区域に、家屋があるか開発の見込みがある**県内約50地区**において、これから**5年間**で取り組みをはじめるとを県の目標としている。
- 取り組み内容は、**将来にわたって安全な地域を作るため「そなえる」と「とどめる」を両輪**で進める。
- 「そなえる」は自助と共助をまとめた**避難計画**の検討。
- 「とどめる」は2階に避難しても命に危険がある区域（3m以上浸水するおそれのある区域）を「**浸水警戒区域**」として指定することを目指し、安全な住まい方のルールを検討。



### 水害・土砂災害に強い地域づくり計画策定の流れ



### 浸水警戒区域指定の目的

- 3m以上浸水するおそれのある区域で、改築および新築される住居の2階が浸水しないかのチェックを県が行う。
- 区域内の既存住宅建て替えの場合は、2階が浸水しないようにするための嵩上げ等を実施するように誘導する。その費用を一部助成する制度により支援。
- 浸水することでこれまで集落の浸水を軽減していた田などにおいて、むやみに開発されることを防ぐ。

将来にわたって  
水害に対して安全な  
地域づくりを行う



### 水口三大寺(三本柳)の平成27年度の取り組み状況

10月24日には自治会の防災訓練後に全戸を対象とした今後の取り組みに関する説明会を実施した。今後は、立命館大学と共同で実施した水害履歴調査や避難に関する住民アンケート調査結果を踏まえて、今後の取り組みについて自治会内に設置されている防災福祉会とともに協議を進めていく。



### 甲賀圏域 重点地区の取り組み状況

地区	取組開始年	取り組み状況
黄瀬	平成26年	モデル地区(県内2地区)として取り組みを実施 平成26年度:出前講座(11/15)、水害履歴調査(2/2)、図上訓練(3/1) 平成27年度:これまでの取組のまとめと区域指定の説明(6/18)、まちあるき(7/26)、避難計画を考えるWG(10/18)、地区ごとの避難計画検(2/17,19,23,26,3/1,4) 平成28年度:6月頃 浸水警戒区域関係者説明会を開催予定
牧		12/14に取り組みについて区長に説明(防災部長が同席)
勅旨	平成28年を希望	12/14に取り組みについて区長に説明(副会長が同席)
長野		12/25に取り組みについて区長に説明
江田	平成28年を希望	12/25に取り組みについて区長に説明
神山	早急な開始を希望	12/25に取り組みについて区長に説明予定
水口三大寺(三本柳)	平成27年	平成23年度:水害履歴調査(2/15) 平成26年度:出前講座2回実施(5/23、2/22)、区長さんが黄瀬の取り組みを見学(3/1) 平成27年度:水害履歴補足調査(9/26) 自治会防災訓練&今後の取り組みについて全戸に説明(10/24) 水害履歴調査の報告&今後の取り組み方針について協議(3/15)
水口宇川		3m以上浸水予測区域に人家がないため取り組み説明は保留